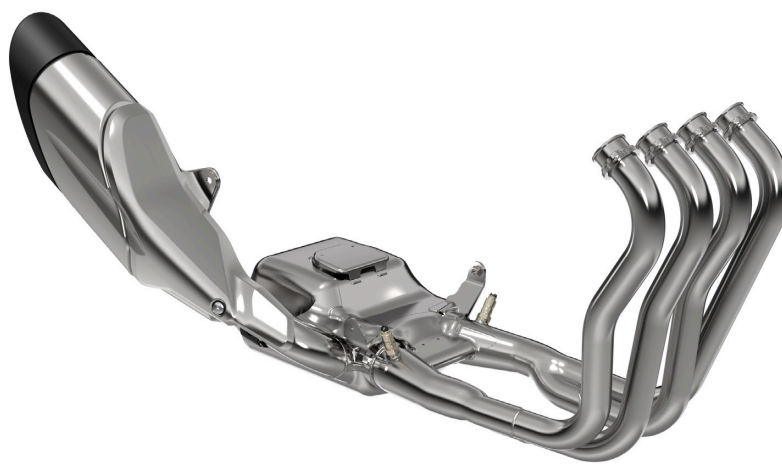


●排気系(1)

新しいCB1000Rの排気システムは、出力特性の進化に寄与する機能部品としての性能とともに、運動性能向上に寄与する軽量化やライダーの高揚感を誘うサウンド、大人の趣味にふさわしい高品位な外観を重視して刷新しました。

排気システムの構成は、マフラーに加えてエキゾーストパイプ集合部後方にチャンバーを設けた構造に変更することで、深いバンク角確保とマス集中化を図るとともに、最高出力と低中回転域トルク双方の向上に大きく寄与しています。

■排気システム外観



マフラーの構造では、テールパイプを縦に二本配置。これにより必要な開口面積を確保することで高回転域の伸び向上とバンク角確保を両立しました。サイレンサー内部は、シンプルな2室構造とすることで軽量化を図り、併せてパンチングメタルを効果的に用いることで高い消音性能を実現しました。また、マフラー内部の下側テールパイプ先端3箇所小さな穴を設けることでアイドリング時の重低音を活かしたまま、中高回転域では膨張室を介さず大気開放する「抜け」を確保し、直列4気筒らしい吹け上がりを感じさせるエキサイティングな高音によりライダーの高揚感を演出します。

■マフラー内部構成図

